

図書室より「新着図書」のお知らせ

《一般書》

『さよならも言えないうちに』 川口俊和

「コーヒーが冷めないうちに」
シリーズ 最新刊!

「最後」があると思っていたのに、なぜそれがあの日だと思えなかったんだろうー。
「君のおかげで僕が幸せだったことを、君に知っててほしかった」
家族に、愛犬に、恋人に会うために 過去に戻れる不思議な喫茶店 フニクリフニクラを
訪れた、4人の男女の物語。

『兇人邸の殺人』 今村昌弘

「屍人荘の殺人」シリーズ
第3弾!

神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と剣崎比留子が、突然の依頼で連れていかれた先は、
“生ける廃墟”として人気を博す地方テーマパークだった。園内にそびえる異様な建物
「兇人邸」に比留子たちが追う班目機関の研究結果が隠されているという。深夜、
依頼主たちとともに潜入した二人を“異形の存在”の無慈悲な殺戮が待ち受けていた。

『スモールワールド』 一穂三千

第165回 直木賞候補作

ままならない現実を抱えながら生きる人たちの6つの物語
夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉と
ふたたび暮す高校生の弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。人知れず手紙を交わし続ける
男と女。向き合うことができなかつた父と子。大切なことを言えないまま別れてしまった
先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描きつくす連作集。

『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』 佐藤愛子

「九十歳。何がめでたい」
の待望の続刊!

直木賞受賞作「戦いすんで日が暮れて」から52年。
いまだ戦いやまず日は暮れず、へとへとのもでしほり出した
最後のエッセイ集!